

平成24年3月27日

記録 齊藤

## 参加者

|              |             |
|--------------|-------------|
| 保健福祉課係長      | 笠原様         |
| 緑町 町内会長      | 首藤様         |
| 副町内会長        | 松木様         |
| 社会福祉協議会 事務局長 | 小杉様         |
| あかまつ ケアマネ    | 岩佐様         |
| スタッフ         | 松村、石井、村谷、齊藤 |

石 井：今回は、今年いっぱい取り組んできたお買いものバスの報告。初めて参加される方もいるので説明。5月に緑町400世帯でアンケート行ったところ、坂道が多いのでお買いものが大変だという声が多くあがり、400中、50名がお買いものバスはあった方がよいという結果がでた。試行運転として8～10月、12～2月の、夏場、冬場と3カ月ずつ運行した。2月までの利用の結果を表に出したので別紙を見て頂きたい。お買いものバスを利用した方の声で一番「ありがたい」というのが多く聞かれ、利用される方が大変喜んでいました。

村 谷：その他に、利用された方の意見として、今までタクシーを使っていた。重いものが買えず大変だった。お金をとって欲しい。スーパーだけではなく、役場、病院等にも行ってほしい。人数が少ないと利用しにくい。等の意見もでた。お買いものバスを利用する事でコミュニティの場が出来て良かった。ハッピーの活動としてはいいが、委託となると財政的に厳しい。こちらとしては、お買いものバスを運行してその結果を町に出し、考えて欲しいという意味もあった。夏場で終了だったが、11月の運営推進会議で、出前町長室を開いて頂き、冬も実施する事が決まった。夏場は月8回。冬は月4回実施。夏場では5名だった登録者が冬場では10名に増えた。利用している方で介護サービスを利用している方の申し込みもあり、冬場は、事故等危険性が高い為、介護サービスを利用している方の利用は控えさせて頂いた。しかし、冬はすごく助かりますって声が多く、緑町は坂も多く、ラルズ等に行くのに時間がかかる。うちが町になにか出来るかと考えていた。車を使うとなると行けるが、年齢を重ねるうちに困難になってくる。支え合いでも高齢者多いので、高齢者同士だとホントに大変。バスを利用する事で会話がはずみ、状況が分かる。地域包括は地域事業、任意事業とあるが、介護予

防の一環で町で動く事は出来ないか。

笠原様：任意事業はたくさんあるが、国の補助がからんでくる。今、一存で使えるとは言えない。

村 谷：利用者負担でやるのか。

笠原様：とらなければならないって訳ではないが、とらなければならない事もある。

首藤様：地域でも高齢者どんどん増えてきている。今、温泉に通える場を作っているが、難しくなっている。

笠原様：タクシーの補助。バスの巡回等、いろんな話がある。今後も、議論しなければならないのは、買い物弱者をどうするか。

村 谷：運動の教室等は行かなくても良いが、お買い物は絶対に必要。そこを考えていきたい。

首藤様：本当はお買いものバスは続けて欲しいという気持ち。しかし、実際はお金の問題が一番難しい。その分、働きかけが必要。どっかで支援できないか考えたい。七飯町では、ここが初めて。いろんな所に広めていきたい。

村 谷：そこそこの地域に合わせた支援が必要ではないか。

松木様：使う人はタダだが、これからは、利用する人もなにかしら負担してもらう事を考えなければ。ただ、お金をもらうというのではなく、ここだけでなく七飯全体で取り組んでいく方法を考えるべきだ。結局お金の問題がついてくる。

村 谷：モデル的に緑町でやって、その結果を鳴川、大沼にも広げ、行政にも伝えていきたい。

小杉様：私たちは支え事業の中で、町の委託という形で窓口になり、取り組む。試験的にやってみて、上手く利用できるように、七飯町によって良い取り組みになれるように考えたい。町民が納得するようしっかりした形で運行しなければならない。良い事なので、財源的なものを考え、他の業者とかに委託出来れば。寄付も良いんだろうが、それを受ける所が困る。

首藤様：緑町には乗用車で何人か乗せてお買い物に行っている所もある。だが、個人ではなく全体を考えた時に何か良い方法がないかなと思う。

岩佐様：お買いのバスの噂は聞いていた。実際、仕事柄高齢者から、受診やお買い物に困るという話も聞いていた。ボランティアで続けると事故が起きた時の所在が関わってくる。以前に広報で町内巡回バスについて出ていたが、なぜ消えたのか疑問に思っていた。町についてもハッピーさんでもいつまでもボランティアでやる訳にはいかないの、利用者からお金をもらってやらなければならないのでは。

村 谷：町としては、全体を見ていく必要があるって事ですよ。

笠原様：ここだけではなく、峠下等、どうするかっていう話にもなってくる。議論が必要。

松 村：個人的には続けていきたい。しかし、人件費もお金に入るし、お金がないと出来ない。うちも人手が足りていない。正直、緊急の時など、バスの事だけを考えている場合ではない時もある。そこだけ改善出来ればと思う。今、来ている人も楽しみに来てくれている。1年2年継続してくると、もっと利用者増えてくる。そうするともっと人手が必要になる。やるからには、すぐ終わるのではなく、10年20年と長いスパンを考えていかなければ。その為に、どうするのか考えないといけないと思う。

村 谷：お買いのバスを利用する事によって、介護予防や機能維持が出来ると思う。

松 村：この先ずっと続ける事によって、行政が考えていかなければならなくなった。利用する方からお金をもらっても、それから人件費をまかなえるかが問題。

松木様：結局お金が問題になってくる。七飯町全体でとなると難しい。

村 谷：昨年度から、うちの事業所は緑町内会に入っているの、町内会の行事の積極的に参加していきたい。

他、質問等ない為、終了とする。